

輸送動向について（5月分）

平成26年6月

1. 輸送概況

今月は、大きな輸送障害もなく、安定した輸送状況で推移した。

荷動きについては、消費税増税前の需要急増の反動が一部あるものの、景気回復や円安により国内生産が堅調に推移し、月全体では前年を上回った。

コンテナ貨物は、円安により国内供給が増加した紙・パルプ、気温上昇に伴い出荷が好調となった清涼飲料水を含む食料工業品、民間流通米の増送により農産品・青果物等が前年を上回ったが、自動車部品が消費税増税による販売の減及び現地調達化の進展、エコ関連物資が災害廃棄物輸送の終了により、それぞれ前年を下回った。結果、コンテナ貨物全体では前年比 104.0%となった。

車扱貨物は、一部顧客が前年の工場の定期修理によりセメント・石灰石が増送となったものの、需要の低迷により石油が減送となり、車扱貨物全体では前年比 99.7%となった。

2. 輸送実績

(単位：千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,657	1,593	104.0%	3,500	3,369	103.9%
車 扱	624	626	99.7%	1,275	1,332	95.7%

3. 品目別輸送実績表

(単位：千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	117	105	12	111.0%
	化学工業品	157	157	0	100.0%
	化学薬品	114	107	7	106.9%
	食料工業品	266	242	24	110.0%
	紙・パルプ	275	249	26	110.1%
	他工業品	121	123	-2	97.7%
	積合せ貨物	188	188	0	100.1%
	自動車部品	59	69	-10	85.6%
	家電・情報機器	38	35	3	108.2%
	エコ関連物資	33	40	-7	81.6%
	その他	290	278	12	104.5%
コンテナ計	1,657	1,593	64	104.0%	
車 扱	石油	391	443	-52	88.3%
	セメント・石灰石	107	59	48	181.3%
	車 両	65	61	4	107.0%
	その他	61	63	-2	96.3%
	車 扱 計	624	626	-2	99.7%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)